

成人・老年看護学講座

成人看護学

著 書

- 1 山地洋子(旧姓)：多発外傷とは何ですか。中村恵子 監修，早坂百合子他 編：救急看護 QUESTION BOX 4 外傷の初期対応，14-15，中山書店。2006。
- 2 山地洋子(旧姓)：多発外傷治療・処置の優先順位の決め方を教えてください。中村恵子 監修，早坂百合子他 編：救急看護 QUESTION BOX 4 外傷の初期対応，16-18，中山書店。2006。
- 3 山地洋子(旧姓)：顔面外傷の特徴と治療について教えてください。中村恵子 監修，早坂百合子他 編：救急看護 QUESTION BOX 4 外傷の初期対応，50-52，中山書店。2006。
- 4 山地洋子(旧姓)：脊椎・脊髄損傷の特徴と症状について教えてください。中村恵子 監修，早坂百合子他 編：救急看護 QUESTION BOX 4 外傷の初期対応，53-55，中山書店。2006。
- 5 山地洋子(旧姓)：脊椎・脊髄損傷患者の治療にはどのようなものがありますか。中村恵子 監修，早坂百合子他 編：救急看護 QUESTION BOX 4 外傷の初期対応，56-57，中山書店。2006。
- 6 安田加代子：脳神経機能にかかわるクリティカルケア看護。山勢博彰 編著：クリティカルケア看護のQ&A，73-98，医学書院。2006。

総 説

- 1 佐藤和子，山地洋子(旧姓)，古賀明美，高崎光浩：臨地実習の質を高める実習記録。看護過程学習支援システムによる実習記録の効率化 31：11，1210-1216。2006。

原 著

- 1 黒木智子，宮内理恵，橋本末子：看護業務量がインシデント・アクシデント件数に及ぼす影響についての検証(第一報)。共済医報 54(3)，259-262。2006。
- 2 山川裕子，山地洋子(旧姓)，福澤雪子，北村奈美：精神か閉鎖病棟実習における学生の不安と目標到達度及び学習満足度との関連。日本看護学会論文集看護教育 37，401-403。2006。

学会発表

国際学会

- 1 Koga A., Sato K., Horikawa E.: Regimen and metabolic control with dropout of diabetes mellitus patients from treatment programs. The 9th East Asian Forum of Nursing Scholars. バンコク。2006, 3, 30. The 9th EAFONS, 161.
- 2 Sato K., Yasuda K., Takasaki M.: The effects of nursing process education system in adult nursing practice. The 9th East Asian Forum of Nursing Scholars. バンコク。2006, 3, 30. The 9th EAFONS, 141.

全国規模の学会

- 1 綾部真由美，實松久美子，佐藤亜希子，池田優子，山下未央，安田加代子，佐藤和子：膀胱内尿量を測定する機器“ゆりりん”の妥当性の検討。第32回日本看護研究学会学術大会。大分。2006，8，25。日本看護研究学会雑誌，29(3)，250。
- 2 古賀明美，佐藤和子，藤田君支，安田加代子，山地洋子(旧姓)，石川倫子，八田勘司，上野和美，大田明英：看護診断教育支援システムを用いた診断の適切性の検討。第12回日本看護診断学会。名

古屋. 2006, 6, 24. 日本看護診断学会学術大会抄録集, 206-207.

- 3 古賀明美, 堀川悦夫, 安田加代子, 藤田君支, 仙波洋子, 佐藤和子: 2型糖尿病患者における治療継続への支援—療養生活の実証的記録に基づくアプローチの効果—. 第11回日本糖尿病教育・看護学会. 京都 2006, 9, 15. 日本糖尿病教育・看護学会誌. 10巻特別号, 294.
- 4 池田優子, 佐藤亜希子, 實松久美子, 綾部真由美, 山下未央, 安田加代子, 佐藤和子: 20歳代女性の膀胱内尿量とその関連因子の検討. 第32回日本看護研究学会学術大会. 大分. 2006, 8, 25. 日本看護研究学会雑誌. 29(3), 251.

地方規模の学会

- 1 仙波洋子, 佐藤和子, 古賀明美: 2型糖尿病患者の身体活動と心理社会的要因に関する研究. 第11回日本看護研究学会九州地方会学術集会. 2006, 11, 11. 第11回日本看護研究学会九州地方会学術集会・抄録集.
- 2 八田勘司, 上野和美, 藤田君支, 池田倫子, 古賀明美, 山地洋子(旧姓), 佐藤和子: 老年看護実習におけるユーモアセラピーの試みその2—認知症高齢者への実施プログラムの検討—. 第11回日本看護研究学会九州地方会学術集会. 2006, 11, 11. 第11回日本看護研究学会九州地方会学術集会・抄録集.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	佐藤 和子	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	萌芽研究	看護診断の適切性を促進するデータベースの構築に関する研究	1,000
教授	佐藤 和子	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(B)一般	尿失禁のある高齢者への個別的な排尿援助方法の開発と睡眠障害の改善に関する研究	1,600
教授	佐藤 和子	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	萌芽研究 (分担)	循環動態が不安定な重症救急患者のケア技術開発に関する研究	600
教授	佐藤 和子	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)一般 (分担)	糖尿病患者における受診再開支援システムの開発	1,000
教授	佐藤 和子	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)一般 (分担)	心臓リハビリテーションを遠隔支援する24時間アクティビティと心負荷の縦断調査	1,700
助教授	楠葉 洋子	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)一般 (分担)	心臓リハビリテーションを遠隔支援する24時間アクティビティと心負荷の縦断調査	1,700
助教授	楠葉 洋子	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	萌芽研究 (分担)	看護診断の適切性を促進するデータベースの構築に関する研究	1,000
助教授	楠葉 洋子	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	萌芽研究	循環動態が不安定な重症救急患者のケア技術開発に関する研究	600
講師 (特任)	安田加代子	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	萌芽研究 (分担)	循環動態が不安定な救急患者のケア開発に関する研究	600
講師 (特任)	安田加代子	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)一般	心臓リハビリテーションを遠隔支援する24時間アクティビティと心負荷の縦断調査	1,700
講師 (特任)	安田加代子	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	萌芽研究 (分担)	看護診断の適切性を促進するデータベースの構築に関する研究	1,000
講師 (特任)	安田加代子	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(B)一般 (分担)	尿失禁のある高齢者への個別的な排尿援助方法の開発と睡眠障害の改善に関する研究	1,600
講師 (特任)	安田加代子	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究C一般 (分担)	糖尿病患者における受診再開支援システムの開発	1,000

慢性期看護分野

総説

- 1 佐藤和子, 山地洋子, 古賀明美, 高崎光浩:【臨地実習の質を高める実習記録】看護過程学習支援システムによる実習記録の効率化(解説/特集). 看護展望 31:11, 1210-1216, メヂカルフレンド社.

原 著

- 1 °Koarada S, Haruta Y, Mitamura M, Morito F, Tada Y, Ohta A, Nagasawa K: Ex vivo CD4+ T-cell cytokine expression from patients with Sjogren's syndrome following in vitro stimulation to induce proliferation. *Rheumatology* 45, 392-399.
- 2 黒木智子, 宮内理恵, 橋本末子: 看護業務量がインシデント・アクシデント件数に及ぼす影響についての検証 (第一報). *共済医報* 54: 3, 259-262.
- 3 °Nagasawa K, Tada Y, Koarada S, Tsukamoto H, Horiuchi T, Yoshizawa S, Murai K, Ueda A, Haruta Y, Ohta A: Prevention of steroid-induced osteonecrosis of femoral head in systemic lupus erythematosus by anti-coagulant. *Lupus* 15, 354-357.
- 4 °シェリフ多田野亮子, 大田明英: 血液透析患者におけるストレスの認知に関する研究: 日本看護科学会誌 26: 2, 48-57.
- 5 °Sherriff-Tadano R, Ohta A, Morito F, Mitamura M, Haruta Y, Koarada S, Tada Y, Nagasawa K, Ozaki I: Antifibrotic effects of hepatocyte growth factor on scleroderma fibroblasts and analysis of its mechanism. *Mod Rheumatol* 16, 364-371.
- 6 °Tada Y, Koarada S, Tomiyoshi Y, Morito F, Mitamura M, Haruta Y, Ohta A, Nagasawa K: Role of inducible costimulator in the development of lupus in MRL/lpr mice. *Clin Immunol* 120, 179-188.
- 7 °Tada Y, Koarada S, Haruta Y, Mitamura M, Ohta A, Nagasawa K: The association of Behcet's disease with myelodysplastic syndrome in Japan: a review of the literature. *Clin Exp Rheumatol* 24 Suppl 42, S115-119.

学会発表

国際学会

- 1 Koga A, Sato K, Horikawa E: Regimen and metabolic control with dropout of diabetes mellitus patients from treatment programs. *The 9th East Asian Forum of Nursing Scholars*. バンコク. 2006, 3, 30. The 9th EAFONS 161.

全国規模の学会

- 1 °春田善男, 三田村未央, 小荒田秀一, 多田芳史, 大田明英, 長澤浩平: 膠原病症例におけるサイトメガロウイルス感染の臨床的検討. 第50回日本リウマチ学会総会・学術集会. 長崎. 2006, 4, 23-26. 第50回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム抄録集, 303.
- 2 °小荒田秀一, 三田村未央, 春田善男, 多田芳史, 大田明英, 長澤浩平: RP105 陰性B細胞の意義と治療応用の可能性. 第50回日本リウマチ学会総会・学術集会. 長崎. 2006, 4, 23-26. 第50回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム抄録集, 168.
- 3 °小荒田秀一, 三田村未央, 春田善男, 多田芳史, 大田明英, 長澤浩平: sero-negative SLE 患者2例における RP105 陰性B細胞の解析. 第34回日本臨床免疫学会. 東京. 2006, 10, 2. 日本臨床免疫学会会誌 29: 267.
- 4 古賀明美, 堀川悦夫, 安田加代子, 藤田君支, 仙波洋子, 佐藤和子: 2型糖尿病患者における治療継続への支援—療養生活の実証的記録に基づくアプローチの効果—. 第11回日本糖尿病教育・看護学会. 京都. 2006, 9, 15. 日本糖尿病教育・看護学会誌 10 (特別号): 294.
- 5 古賀明美, 佐藤和子, 藤田君支, 安田加代子, 山地洋子, 石川倫子, 八田勘司, 上野和美, 大田明

英：看護診断教育支援システムを用いた診断の適切性の検討。第12回日本看護診断学会。名古屋。2006， 6， 24-25。看護診断 11(2)：P206。

- 6 黒木 司，大田明英：炎症性腸疾患の病態に関連するストレス不適應についての研究。第26回看護科学学会学術集会。神戸。2006， 12， 3。第26回看護科学学会学術集会講演集， 149。
- 7 °三田村未央，春田善男，小荒田秀一，多田芳史，大田明英，長澤浩平：皮膚筋炎の長期予後と死因の臨床的検討。第50回日本リウマチ学会総会・学術集会。長崎。2006， 4， 23-26。第50回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム抄録集， 262。
- 8 °多田芳史，小荒田秀一，春田善男，三田村未央，大田明英，長澤浩平：Rp105 分子の関節炎モデルにおける作用の解析。第50回日本リウマチ学会総会・学術集会。長崎。2006， 4， 23-26。第50回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム抄録集， 126。
- 9 °多田芳史，三田村未央，春田善男，小荒田秀一，大田明英，長澤浩平：MDS を合併したベーチエット病の特徴：自検例と本邦報告例の review。第50回日本リウマチ学会総会・学術集会。長崎。2006， 4， 23-26。第50回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム抄録集， 213。

地方規模の学会

- 1 °井上久子，春田善男，末松梨絵，三田村未央，小荒田秀一，多田芳史，大田明英，長澤浩平：レフルノミド投与中に発症した悪性関節リウマチの一例。第32回九州リウマチ学会。熊本。2006， 9， 9。第32回九州リウマチ学会プログラム抄録集， 48。
- 2 °三田村未央，春田善男，小荒田秀一，多田芳史，大田明英，長澤浩平：治療に難渋した肥厚性硬膜炎合併の顕微鏡的多発血管炎の一例。第31回九州リウマチ学会。宮崎。2006， 3， 4。第31回九州リウマチ学会プログラム抄録集， 59。
- 3 °三田村未央，多田芳史，末松梨絵，井上久子，小荒田秀一，大田明英，長澤浩平：発症早期に妊娠した皮膚筋炎の一例。第32回九州リウマチ学会。熊本。2006， 9， 9。第32回九州リウマチ学会プログラム抄録集， 161。
- 4 仙波洋子，佐藤和子，古賀明美：2型糖尿病患者の身体活動と心理社会的要因に関する研究，抄録集。第11回日本看護研究学会九州地方会学術集会。福岡。2006， 11， 11。第11回日本看護研究学会九州地方会学術集会・抄録集 48。
- 5 °多良明子，多田芳史，三田村未央，鐘江 大，小荒田秀一，井上久子，大田明英，長澤浩平：不明熱で発症した特発性間質性腎炎の一例。第32回九州リウマチ学会。熊本。2006， 9， 9。第32回九州リウマチ学会プログラム抄録集， 53。
- 6 °戸山真吾，春田善男，三田村未央，小荒田秀一，多田芳史，大田明英，長澤浩平：腹痛・腰痛を主訴とした高安動脈炎の一例。第31回九州リウマチ学会。宮崎。2006， 3， 4。第31回九州リウマチ学会プログラム抄録集， 42。
- 7 八田勘司，上野和美，藤田君支，池田倫子，古賀明美，山地洋子，佐藤和子：老年看護実習におけるユーモアセラピーの試みその2—認知症高齢者への実施プログラムの検討—。第11回日本看護研究学会九州地方会学術集会。福岡。2006， 11， 11。第11回日本看護研究学会九州地方会学術集会・抄録集 64。

その他の学会

- 1 大田明英，松浦江美，三田村未央，春田善男，小荒田修一，多田芳史，長澤浩平：関節リウマチを合併した強皮症患者の QOL について。第9回強皮症研究会議。東京。2006， 1， 14。第9回強皮症

研究会議合同会議プログラム, 19.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	大田 明英	平成18年度文部科学省研究費補助金	基盤研究(C)	膠原病患者のストレス不応性についての基礎的研究およびストレスマネジメント介入効果	1,200
講師	古賀 明美	平成18年度文部科学省研究費補助金	基盤研究(C)	糖尿病患者における受診再開支援システムの開発—生活習慣記録機の活用—	1,000
講師	古賀 明美	平成18年度文部科学省研究費補助金	萌芽研究 (分担)	看護診断の適切性を促進するデータベースの構築に関する研究—電子カルテを活用した方法論の開発—	1,000
講師	古賀 明美	平成18年度文部科学省研究費補助金	基盤研究(C) (分担)	和式生活における人工関節患者の日常生活レベルと QOL の長期追跡調査	1,600
講師	古賀 明美	平成18年度文部科学省研究費補助金	基盤研究(C) (分担)	心臓リハビリテーションを遠隔支援する24時間アクティビティと心負荷の縦断調査	1,700
助教	池田 倫子	平成18年度文部科学省研究費補助金	若手研究(B)	胃切除術を受けた患者の消化器愁訴と食事摂取に伴う残胃内容積の変化の関連性の検討	1,054
助教	池田 倫子	平成18年度文部科学省研究費補助金	基盤研究(B) (分担)	尿失禁のある高齢者への個別的な排尿援助方法の開発と睡眠障害の改善に関する研究	1,600
講師	古賀 明美	平成18年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成支援事業	糖尿病患者におけるインターネットを活用した自己管理評価と行動の変化に関する研究—生活習慣の実証的記録に基づくアプローチ—	500

老年看護学分野

著書

- 1 藤田君支：病院における高齢者看護のプロセス。小玉敏恵，亀井智子編：高齢者看護学 改訂版 126-130，中央法規出版。2006。
- 2 八田勘司：川野雅資編 精神看護学II。第4版 第11章 抑うつ状態の患者の看護 241-245，ニューヴェルヒロカワ。2006。
- 3 八田勘司：川野雅資編 精神看護学II。第4版 第11章 認知症（痴呆）状態の患者の看護 289-292，ニューヴェルヒロカワ。2006。
- 4 八田勘司：川野雅資編 精神看護学II。第4版 パートV事例 うつ病の急性期 332-333，ニューヴェルヒロカワ。2006。
- 5 八田勘司：川野雅資編 精神看護学II。第4版 パートV事例 認知症（痴呆）の急性期

343-344, ヌーヴェルヒロカワ. 2006.

- 6 八田勘司：奥野茂代，大西和子編 老年看護学II. 第3版 第8章 10. 環境 199-202, ヌーヴェルヒロカワ. 2006.
- 7 八田勘司：奥野茂代，大西和子編 老年看護学II. 第3版 第8章 11. 精神保健 203-205, ヌーヴェルヒロカワ. 2006.

総 説

- 1 上杉裕子，藤田君支，奥宮暁子：人工股関節置換術患者の QOL—QOL 尺度 OHS, WOMAC, SF-36 を用いて—。Hip Joint 32, 81-84. 2006.

原 著

- 1 藤田君支：人工股関節患者の Quality of life に関する質的研究と縦断的調査研究 1-60, 平成17年度大阪大学博士論文. 2006.
- 2 原 頼子，松岡 緑，藤田君支：糖尿病患者の治療満足と自尊感情に影響する要因—家族サポートに焦点を当てた分析— 10：1, 4-15, 日本糖尿病教育・看護学会誌. 2006.
- 3 Kimie Fujita, Kiyoko Makimoto, Takao Hotokebuchi: Qualitative Study of Osteoarthritis Patients' Experience Before and After Total Hip Arthroplasty in Japan 6: 8, 81-87, Nursing and Health Sciences. 2006.
- 4 松尾壽子，八田勘司：「おむつ体験」学習の検討 3, 199-205, 第一福祉大学紀要. 2006.
- 5 上杉裕子，藤田君支，奥宮暁子：人工股関節患者における日本語版 Western Ontario and McMaster Universities Osteoarthritis Index (WOMAC) の信頼性と妥当性の検討 29：4, 81-88, 日本看護研究学会誌. 2006.

学会発表

国際学会

- 1 Kimie Fujita, Kiyoko Makimkoto, Takao Hotokebuchi, Toyoko Ikeda: Health related Quality of life among Japanese Patients Before and After Total Hip Arthroplasty. The 9th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) meeting. Bangkok. 2006, 3, 30.

全国規模の学会

- 1 藤田君支：人工股関節患者の QOL に関する研究. 日本看護クリティカルシンキング研究会. 大阪市. 2006, 3, 3. 日本看護クリティカルシンキング研究会誌 5(1), 26-28.
- 2 藤田君支，牧本清子：人工股関節患者の健康関連 QOL と和式ライフスタイルの検討. 日本看護研究学会. 別府. 2006, 8, 24. 日本看護研究学会誌 29(3), 179.
- 3 藤田君支，牧本清子：人工股関節患者が価値づける QOL 領域と満足度. 日本看護科学学会学術集会. 大阪. 2006, 12, 2. 第26回日本看護科学学会学術集会講演集 186.
- 4 古賀明美，堀川悦夫，安田加代子，藤田君支，仙波洋子，佐藤和子：2型糖尿病患者における治療継続の支援. 第11回日本糖尿病教育・看護学会学術集会. 京都. 2006, 9, 17. 日本糖尿病教育・看護学会誌 10 (特別号) 294.
- 5 古賀明美，佐藤和子，藤田君支，安田加代子，山地洋子，石川倫子，八田勘司，上野和美：看護診断支援システムを用いた診断適切性の検討. 第12回日本看護診断学会学術集会. 名古屋. 2006, 6, 24. 第12回日本看護診断学会学術集会抄録集 206-207.
- 6 富田えり奈，畑中弥生，熊本美子，藤田君支：ボディメカニクスと生体負担及び介助時間と疲労度

に関する検討. 日本看護研究学会. 別府. 2006, 8, 24. 日本看護研究学会誌 29(3), 245.

- 7 上杉裕子, 藤田君支, 奥宮暁子: 人工股関節置換術 (THA) 術前患者の QOL 一年齢による QOL の比較検討一. 日本看護科学学会学術集会. 大阪. 2006, 12, 2. 第26回日本看護科学学会学術集会講演集 479.

地方規模の学会

- 1 八田勘司, 上野和美, 藤田君支, 池田倫子, 古賀明美, 山地洋子, 佐藤和子: 老年看護実習におけるユーモアセラピーの試み その2. 第11回日本看護研究学会九州地方学術集会. 九州大学. 11, 11. 第11回日本看護研究学会九州地方学術集会 64.
- 2 仙波洋子, 佐藤和子, 古賀明美: 2型糖尿病患者の身体活動と心理社会的要因に関する研究. 第11回日本看護研究学会九州地方学術集会. 九州大学. 11, 11. 第11回日本看護研究学会九州地方学術集会 48.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
助教授	藤田 君支	平成18年度文部科学研究費補助金	若手研究(C)(一般)	和式生活における人工関節患者の日常生活レベルと QOL の長期追跡調査	1,600
助教授	藤田 君支	平成18年度文部科学研究費補助金	若手研究(C)(一般)(分担)	尿失禁のある高齢者への個別的な排尿援助方法の開発と睡眠障害の改善に関する研究	1,600
助教授	藤田 君支	平成18年度文部科学研究費補助金	若手研究(C)(一般)(分担)	糖尿病患者における受診再開支援システムの開発—生活習慣記録機の活用—	1,000
助教授 助教授	藤田 君支 八田 勘司	平成18年度文部科学研究費補助金	萌芽研究(分担)	看護診断の適切性を促進するデータベースの構築に関する研究—電子カルテを活用した方法論の開発—	1,000
助教授 助教授	八田 勘司 藤田 君支	平成18年度文部科学研究費補助金	萌芽研究	長期療養施設における非薬物療法としてのユーモアセラピーモデルの開発	1,500
助教授	藤田 君支	平成18年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者育成支援事業	和式生活における人工関節患者の日常生活レベルと QOL の長期追跡調査	450